

令和3年度(2021年度)

管理事業名	ホームタウン関連事業			総合計画の体系	大綱 7 政策 3 施策 2	都市魅力 市民が愛着をもてるまちづくり 本市独自の強みを生かしたまちづくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 32 スポーツ推進費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室			
予算大事業名	ホームタウン関連事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名			
事業の目的と概要 ・本市とパートナーシップ協定を締結し、市立吹田サッカースタジアムを本拠地とするガンバ大阪を市全体で応援することにより、「ガンバ大阪のあるまち」としてのふるさと意識やホームタウン意識の醸成を図り、市民が愛着をもてるまちづくりを目指すとともに、スポーツの推進及び青少年の健全育成並びににぎわい及び活力のあるまちの創造を図ることを目的とします。 ・各事業については、スタジアムのネーミングライツの対価を活用し、ガンバ大阪選手着用ユニフォームパンツに『吹田市』を掲出し、「市をあげてガンバ大阪を応援する」意思を広く国内外に示すとともに、コロナ禍の中、感染症対策に留意しながら、幼稚園や小学校へのガンバ大阪アカデミーコーチ派遣事業や保育園・幼稚園児をスタジアムに招くピッチ体験事業等を実施しています。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
プロサッカー吹田市民入場者数	人/試合数	14,452/17	7,240/17	5,419/19	ホームゲーム(J1リーグ)における吹田市民入場者数
ホームタウン推進事業参加者数	人	4,640	2,406	3,245	ガンバ大阪と市民のふれあいイベントなどの応援イベントやキッズフォローアップ事業、ピッチ体験事業などへの年間参加者数
成果の説明	ホームゲーム(J1リーグ)における吹田市民入場者数については、J1リーグIDでのチケット購入者からデータを抽出しています。試合数が2試合増加している中、前年度比が約1,800人の減となった理由としては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、無観客試合5試合を含め観客数が大幅に制限されたことが挙げられます。 ホームタウン推進事業については、キッズフォローアップ事業(コーチ派遣:1,156人、中学生女子サッカー教室:780人)やピッチ体験事業(809人)などの参加がありました。前年度比約800人増の理由としては、ピッチ体験事業など、新たな取組の実施によるものです。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	-	-	-	-
給与関係費	-	-	3,567	3,567
物件費	-	-	-	-
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	63,350	63,350
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	-	290	290
退職手当引当金繰入額	-	-	△1,305	△1,305
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	-	65,902	65,902
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	-	△65,902	△65,902
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	-	△65,902	△65,902
一般財源充当額	-	-	4,469	4,469
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	-	△61,433	△61,433

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
負担金・補助金・交付金等	負担金 63,000千円(ホームタウン推進事業負担金) 補助金 350千円(ガンバ大阪のあるまち補助金)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	-	-
行政サービス活動支出	-	-	67,819	67,819
行政サービス活動収支差額	-	-	△67,819	△67,819
投資活動収入	-	-	63,350	63,350
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	63,350	63,350
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	-	-	△4,469	△4,469
一般財源充当額	-	-	4,469	4,469
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	特徴的な事項
投資活動収入	投資活動収入:ネーミングライツの対価を積み立てているスポーツ推進基金からの繰入金

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
ホームタウン推進事業 1人あたりのコスト	令和元年度	4,640 人	14,752 円	ホームタウン推進事業に係る費用の全ては、スタジアムのネーミングライツの対価を活用しています。ホームタウン推進事業負担金として、ガンバ大阪選手着用ユニフォームパンツに『吹田市』を掲出する広告料を含んだ額で単位当たりのコストを算出しており、結果、参加者1人あたり20,309円のコストがかかっています。
	令和2年度	2,406 人	30,485 円	
	令和3年度	3,245 人	20,309 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	-	290	290
	未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	-	290	290
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
	その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
					その他流動負債	-	-	-
固定資産	事業用資産				固定負債	-	2,900	2,900
	有形固定資産				地方債	-	-	-
	土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
	建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	-	2,900	2,900
	リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
	建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
	無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	-	3,189	3,189
	インフラ資産				純資産	-	△3,189	△3,189
	有形固定資産							
	土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-					
建設仮勘定	-	-	-	純資産の部合計	-	△3,189	△3,189	
重要物品	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	-	-	
図書館資料	-	-	-					
投資その他の資産	-	-	-					
出資金	-	-	-					
長期貸付金	-	-	-					
基金	-	-	-					
徴収不能引当金	-	-	-					
その他債権	-	-	-					
資産の部合計	-	-	-					

Ⅲ 財務構造分析

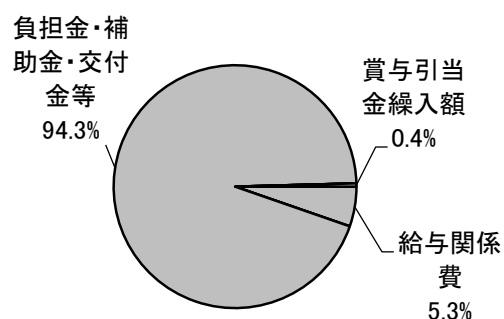
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
	0.5人			2,552
給与関係費等	2,552千円			2,552
内、時間外勤務手当	12千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		-	-	6.6	6.6

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

ホームタウン推進事業については、市立吹田サッカースタジアムのネーミングライツで得た対価を積み立てたスポーツ推進基金から63,350千円を当該事業へ充当し事業を実施しました。ホームタウン推進事業負担金及び補助金がコスト全体の94.3%を占めています。
令和3年度は、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響により市民ふれあい事業等のイベントが中止となりましたが、キッズフォローアップ事業や新たに市立保育・幼稚園児をスタジアムに招き実施するピッチ体験事業などに加え、ガンバ大阪選手着用ユニフォームパンツへの『吹田市』掲出を実施することで、ホームタウン意識の醸成が図られました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

ホームタウン推進事業については、さらにホームタウン意識の醸成を図るため、市とガンバ大阪との連携体制のみならず、市内のガンバ大阪を応援する団体などとの連携・協力を強化し、オール吹田での取組を進めるとともに、事業の拠点をスタジアムだけではなく市内全域へと広げる必要があります。